

● 広報

おくび



2010

11

NO.673



すこやか
小国っ子
シリーズ⑩

～ お姉ちゃんの手で ～

今年で23回目を迎えた沖小歌舞伎。

白波五人男に出演する今陽洸君（沖庭小5年）の化粧をする今唯乃さん（小国高2年）。

「もうできあがり？」「まだ。もう少し」そんな2人の会話が聞こえてきました。

地域文化の継承と展開



白沼小学校の白い森学習 炭焼き体験

人口減少や少子高齢化など私たちを取り巻く環境は年々変化しています。こうしたなか、これまで受け継がれ、維持、保全されてきた農山村の持つ機能や役割の重要性を再認識し、地域自らが、自分たちの地域の特性を生かした地域づくりが展開されています。

地域を知り、地域を愛する心を育成する「白い森学習」、「地域文化学」を通して、地域文化の継承とその展開を紹介します。

小国町に根付いている独特の生活文化、生活技術には、先人たちの意志と努力によって培われた知恵が息づいています。これを受け継いでいくことは、自分たちの地域や環境について特性を理解し、地域の誇りを再認識することにつながります。町では、様々な学習の場において、こうした生活文化、生活技術の評価と継承、そして新たな取り組みを促進する「ふるさと小国」を担う人づくりを推進しています。学校の授業や、町が開催する各種講座、町民が主体的に開催するイベントなどで、地域文化を伝承する機会がつくられています。

特に、町の特色ある教育システムである小中高一貫教育においては、小中学校では「白い森学習」、小国高校では「地域文化学」として地域学習に取り組んでいます。

地域学習を通じて、地域の歴史、自然、文化を知り、体験することは、それを伝承している人々の思いを知ることになります。そして、子ども

小中高一貫教育
白い森学習推進部長

渡部 眞治氏

(白沼小中学校 教頭)



白い森学習は、地域の歴史、文化、自然を学びますが、そこには地域のかたがたとの関わりがあり、地域の教育力を生かした取り組みといえます。地域を知ることは、地域を好きになる気持ちを育てるうえで大切なことです。小国町の良さを子どもたちに伝えていく機会でもあります。

学習の成果は、地域を発展させるにはどうしたらいいか、子どもたちからの提案でもあると思います。

地域に学ぶ白い森学習

小学校三年生から始まる白

たちは、それを誇りに思い、継承させようとする心の育成や、地域に関わる取り組みに対する意欲の向上につながります。

白い森学習では、地域に根付いた学習によって、郷土を愛する心の育成を図っています。

い森学習は、学年段階に応じて、学習内容を発展させていきます。小学校では、身近な地域をフィールドに、地域の人々と関わりながら、歴史、文化、自然などを学習していきます。森や川などの自然環境や、そこで育まれる食の恵み、さらには、伝承文化、地域で営まれている産業などを学んでいます。

中学校では、小学校での取り組みをさらに発展させ、自

然環境や社会環境の変化を捉えながら、身近な地域から町全体へと視点を広げ、地域のすばらしさ、小国の良さや課題、地域の活性化に必要なことなどを探求しています。各小中学校が、それぞれの地域性を考慮して題材を抽出し、地域のかたがたの協力を得て、学習を展開しています。

白沼小学校三年・四年生の炭焼き体験を指導した草刈広一さん（沼沢）は、

「十年前から毎年、子どもたちに炭焼きを教えています。

炭焼きは、ほとんどの子どもが初めての体験。機械のない人力作業で、いわば昔の人の



仕事です。これは昔から地域に伝わる生業を知るとともに、便利になった今の時代のすばらしさを知ることでもあります。

小国は雪の量が多いからこそ、まわりまわって色んな恵みがあります。子どもたちには地域独特の良さ、すばらしさを分かってもらいたいと思います」と話してくれました。

伝承文化を掘り起こし、 新たな文化を発信する 地域文化学

地域学習の最終段階として、小国高校では、県内外の大学と連携して、地域文化学に取り組んでいます。小中学校での学習をさらに発展させ、大学教授らの指導のもと、地域のことをより広い視点で考察しています。

地域文化学は、一年生が中心となり、生徒たちが数人ずつのグループに分かれて研究テーマを決め、その内容についてそれぞれ研究を進めます。小中学校で学んだ白い森学習

を基礎として、小国町に伝わる民俗芸能、年中行事、伝承工芸などを含めた生活文化・生活技術や、保健医療福祉などを題材にしています。他地域との比較という視点も取り入れ、地域の利点や問題点を検討し、解決する力の育成に取り組んでいます。

地域文化学の授業について、小国高一年の佐藤秀稔君は、「自分たちで町のことを取材しながら、調査結果をまとめられています。研究の成果は、身近な人たちに教えて広めたいと思うし、自分の将来にも役立てたいと考えています」と話してくれました。

地域文化学の取材活動に協



力した益田則雄さん(幸町)は、「地域の歴史、文化を学ぶことは、とても大切なことだと思います。これまでの学習成果も見ていましたが、年々、レベルアップしてきているように感じます。地域のことを調べてまとめる、そして発表することは、生徒の将来につながると 생각합니다」と話してくれました。

また、白い森学習を基礎とした地域文化学では、これまでの学習の成果を積み重ねて、地域情報の掘り起こしや、小国の魅力発信につなげています。この取り組みのなかから、主な取り組みを二例紹介しましょう。

小国の伝承歌を採譜

小国には古くから祭礼の時



に歌われる伝統的な歌や、子どもたちの手遊び歌など、いわゆる伝承歌が数多く残されています。平成十一年発刊の『小国の文化財』のなかに、伝承歌の歌詞が掲載されています。しかし、楽譜は掲載されていません。そこで、平成十九年度の研究から、小国高生が実際に地域の伝統行事を取材しながら、そこで歌われる伝承歌の採譜に取り組み、山形大学地域教育学部教授の鈴木渉氏の継続した指導のもと、平成二十一年度に『小国の伝承歌』を発刊しています。この冊子では、いそ節、小

国臼引き唄(もみすり唄)など全二十七曲が、取材内容も含めて紹介されています。この内容は、小国高校のホームページで公開されており、インターネット上で誰でもその成果を見ることができます。

小国高生がつくる情報誌『Oguni』

小国高生による地域の魅力を発信する取り組みとして、平成二十年度から、東北公益文科大学公益学科准教授の呉尚浩氏の指導を受け、地域の魅力を発信する情報誌『Oguni』を発行しています。

小国の魅力ある地域情報として、平成二十年度に発行した第一号では「小国を楽しむ」と題して、森林セラピー基地温身平での癒し体験や、小国の食をめぐるネットワークについて特集を掲載。また、第二号では、「白い森おぐにの恵み」と題して、雑穀の調理方法の紹介や、北部地域の自然について紹介しています。平成二十二年度においても、

地域文化学

本年度の講師と 取り組みテーマ

山形大学工学部大学院

理工学研究科 准教授 前山 勝也氏

【蛍光物質をつくる】

東北文教大学短期大学部

総合文学科 教授 菊地 和博氏

【民俗芸能・民俗行事・庶民信仰・
伝統工芸】

東北公益文化大学

公益学科 准教授 呉 尚浩氏

【Oguu第3弾】

米沢女子短期大学

日本史学科 講師 原 淳一郎氏

【地域の歴史・民俗学】

新潟医療福祉大学健康科学部

看護学科 講師 松井由美子氏

【小児看護学】



引き続き、呉氏の指導のもと、第三号の発行に向けて取材・編集を進めています。

呉氏は、「伝承文化を守る
こととともに、新しい地域文

化を作っていくことも必要です。私の講義では、そういう視点から、何らかの手法で、地域の情報を発信することを考えました。そして高校生の提案で生まれたのが『Oguu』です。
生徒が体験的に取材する。そして地域での取り組みを肌で感じ、それを編集し、人に伝えることによって学びが深まります。さらに、それを広めることは、これからの町づくりに資する取り組みだと思います。

また、『Oguu』制作の

なかで、食のネットワークについての座談会や、大学生と一緒に活動する場面もありました。こうしたことが、新しい交流につながっています。こうした取り組みが、これからのまちづくりのきっかけになればと思います」と話してくれました。

地域学習の展開が 多様な力の結集に

地域学習を通して、地域の文化を学ぶことは、文化の継承だけでなく、地域の持つ特

性を理解し、地域の誇りを再認識するとともに、新たな交流が生まれています。交流することによって、新たなつながりが生まれ、さらに協働すること、地域の魅力の高まりや広がりにつながり、「地域の持つ力」が増幅することになります。社会環境が変化していくなかであって、地域や集落の機能を維持、保全し、新たな文化をつくっていくためには、地域自らが、主体的に「地域の持つ力」を高めていくことが必要です。

町では、白い森学習、地域文化学という町独自の特色ある教育を大切にして、ふるさと小国を担う人づくりを進めるとともに、町内各地に継承されてきた知恵と技術を受け継ぎ、新たな文化を創出する「仕組みと場づくり」に取り組むこととしています。また、地域特性を生かした取り組みを展開し、町民の主体的な力を、地域の取り組みに共鳴する多くの人たちの多様な力の結集による活力ある地域づくりを促進していきます。

情報通信サービスの

利用拡大

近年、情報社会の進展により、インターネットをはじめとする情報サービスが日常生活で広く利用され、光ファイバや携帯電話は、電気や水道と同様に重要な生活基盤になってきました。

町では、誰もが超高速インターネット接続などのサービスを利用できる環境を整備するため、国からの補助を受け、現在、平成二十三年三月のサービス開始に向け、東日本電信電話株式会社山形支店と

の間で契約を結び、光ファイバケーブルの敷設工事を進めています。

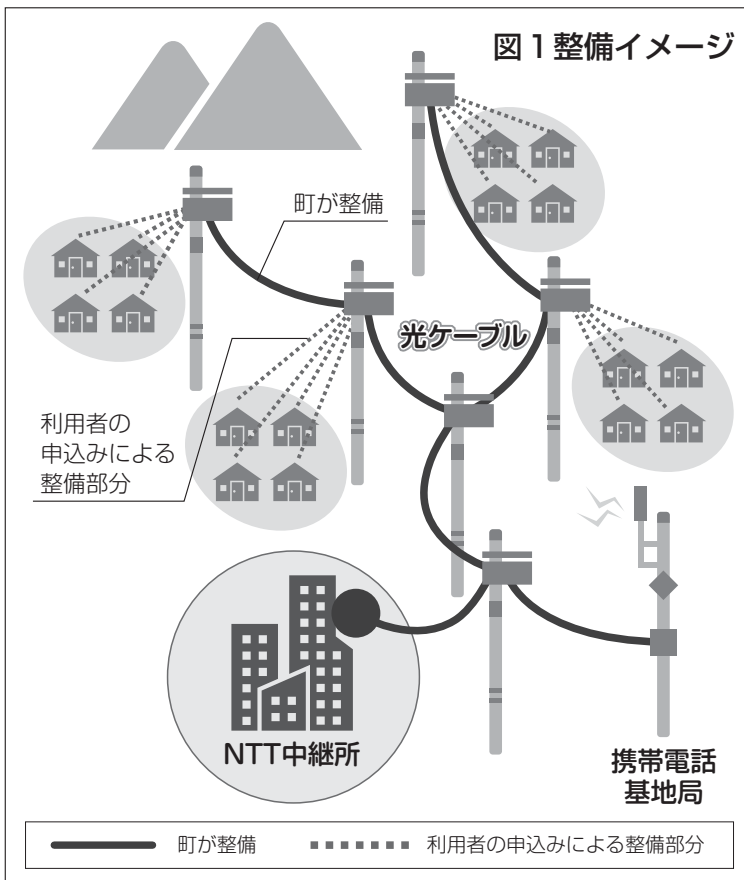
光ファイバが整備されると、町内のほぼ全域にブロードバンドを利用できる環境が整い、大容量・高速度の情報通信が可能になります。

町が整備しているのは、NTTの中継所から各家庭付近までの基幹となるケーブルで、そこから各家庭への引き込みは、利用する人により整備することになります（図1整備イメージ参照）。

また、現在町では、町内九カ所で携帯電話の基地局整備も進めており、NTTドコモによるサービスが予定されています。通話サービスの開始は、整備を進めている光ファイバのサービス開始に合せ、平成二十三年三月を見込んでいます。

これらの基地局が完成することにより、町内の通話エリアは大幅に拡大されます。また、町では今後も、通話エリアの拡大を促進していくこととしています。

図1 整備イメージ



Q & A

Qブロードバンド環境（光ファイバ）が整備されると何ができるの？

インターネットにおいて、大容量の動画や音楽データなどを素早くダウンロードできます。また、パソコン以外でも、インターネットを使った様々なサービスを利用できるようになります。

Q光ファイバによるインターネットを利用するには？

次の手続きが必要となります。

- ・光ファイバ利用申込み
- ・光ファイバを利用するための申込みが必要です。
- ・インターネット接続申込み

インターネットに接続するための申込みが必要です。

Q携帯電話基地局の整備箇所は？

徳綱、金目、玉川中里、足野水、市野沢、足水中里、樽口、河原角及び白子沢地内の九カ所です。それぞれの集落がエリア化されます。

■問合先

総務企画課行政管理室

渡邊拓磨さん(樽口) 全国大会へ出場

小国町商工会青年部の渡邊拓磨さん(樽口)が、平成二十二年商工会青年部主張発



表全国大会に出場します。

渡邊さんは、九月に行われた北海道・東北ブロック大会において最優秀賞(東北産業局賞)を受賞し、全国大会への出場権を獲得しました。

発表テーマは、『青年部活動に参加して1+2+3=6を世界へ』というタイトルです。「商工会青年部で取り組んでいる農商工連携について発表します。全国の舞台で、小国のことを広められるよう、頑張ります」と全国大会への抱負を話してくれました。

町立病院に 宇賀神智先生が着任



十月一日から、町立病院に、内科医師宇賀神智先生が着任されました。

千葉県市川市出身の宇賀神先生は、山形大学を卒業後、県立中央病院、東北中央病院などで勤務されてきました。「専門は、消化器内科です。専門性を生かしつつ、幅広く診療を行えるよう努力していきたいと思っています。」と話してくれました。

町民の安全安心な暮らしを守るため 暴力団排除で関係機関が連携し

町と小国警察署が連携し 暴力団を排除

町では、暴力団が町営住宅等に入居しないよう規定し、町民の安全安心な生活を守るための取り組みを進めています。また、これに伴い、小国町と小国警察署が、九月二十九日、合意書を締結し、入居しようとする者が暴力団員であるか否かの照会など、その情報提供について連携・協力することとしました。

暴力団みかじめ料 縁切り同盟を結成

暴力団の資金源であるみかじめ料等の不当な要求を拒否し、暴力団組織の壊滅を図り、



10月14日に行われた結成式

安全・安心な街づくりの実現を目指すことを目的に、「暴力団のみかじめ料等縁切り同盟(会長・加藤功小国町商工会長)」が発足しました。

十月十四日に行われた結成式では、町商工会を中心に、町内の四十一事業所が加盟し、不当要求があった場合には、断固拒否するとともに、警察に届け出ることを宣言しました。また、「暴力団追放すつべアー」と記載されたプレートが配られ、それぞれの事業所に掲示することとしました。

万が一に備えて

小国町総合防災訓練

小国町総合防災訓練が、十月二日、沖庭小学校で開催されました。

新潟県沖を震源とする大規模地震が発生したとの想定で進められ、沖庭地区のかたを中心に、町消防団員など約三百人が参加しました。

訓練は、災害対策本部の設置に始まり、消火器とバケツを使った初期消火訓練や、救急救護訓練などが実施された



消火器を使った初期消火訓練

ほか、今回は、近年多発している豪雨災害への備えとして、水防訓練も行われました。

参加者らは、緊急時における対応について、協力体制を確認し合いながら、真剣な表情で取り組んでいました。

AEDを使った救護訓練



素早く土のうを積み上げる水防訓練



宝くじ助成により 幼年消防クラブの 楽器を整備

町では、火災予防のPR活動を推進するため、(財)日本防火協会「民間防火組織等の防火・防災普及啓発推進事業」の助成を受け、幼年消防クラブが使用する楽器を整備しました。これらの楽器を、毎年の消防演習をはじめとする各種事業において、鼓笛隊演奏などに活用し、広く防火思想の普及啓発を実施することとしています。



※この助成事業は、宝くじの普及広報を目的として行われているもので、宝くじの収入を財源としています。

自発光回転灯を 通学路などに設置

小国警察署では、JA共済連山形から贈呈を受けたソーラー式自発光回転灯スポットフラッシュを、町内十五カ所に設置しました。

小国警察署榎地域交通課長は、「町内の県道や国道一三三号で、児童生徒の横断の多い横断歩道に設置しています。歩行者が横断歩道を渡ろうとすると、回転灯が点滅する仕組みです。」

横断歩道は歩行者優先です。歩行者を見つけたら思いやる心で一旦停止しましょう」と話してくれました。



※○で囲まれた部分が回転灯

中学生が職場体験

町内の中学2年生95人が、10月4日から8日までの5日間、町内の36事業所で職場体験を行いました。

この職場体験は、中学生が働くことの厳しさや、社会人としての礼儀を学び、自分の将来を考える契機とすることを目的としており、事業所や地域の皆さんの全面的な協力を得て実施されました。

金十商店



小野 優都君（叶水中）
食品の包装や陳列を体験しました。徐々に上手くできるようになり、やりがいを感じた。

温身の郷



後藤 慎都君（白沼中）
食事の介助や散歩をしました。お年寄りに喜んでもらえたとき、とてもうれしかった。

すみれ保育園



渡部 美月さん（北部中）
たくさん子どもとふれあうことができました。子どもを寝かしつけることが大変でした。

小国町役場



米野 賢史郎君（小国中）
広報の仕事や製図などを体験しました。この経験を将来につなげていきたいと思います。

大谷農園



佐藤 克典君（小国中）
農業に関心がありました。力仕事が多く、大変でしたが、その分、達成感を得られました。

渡辺小夏さん（小国中三年）
環境絵画コンクール
文部科学大臣奨励賞を受賞



小国中学校三年の渡辺小夏さんが、第十四回全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクールで文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

美術部に所属している渡辺さんは、「町のブナの森と、自分の好きな生き物を組み合わせて描きました。絵を見て、自然環境を大切にする気持ちになってもらえるとうれしいです」と話してくれました。

10/6

子どもたちの夢にアドバイス

～モンテディオ山形「夢クラス」～



キム・クナン選手（左）と中野圭選手（右）から記念品の贈呈

モンテディオ山形の「夢クラス」が、10月6日、小国小学校で行われました。

これは、サッカー選手と子どもたちが、夢について語り合う授業で、モンテディオ山形が地域貢献活動の一環として取り組んでいるものです。

今回は、キム・クナン選手と中野圭選手が来校。授業では、代表児童が自分の夢を発表し、両選手から夢を実現するためのアドバイスが送られていました。授業終了時には、記念品の贈呈や記念撮影も行われ、子どもたちとの交流も深めていました。

10/17

古の街道を歩き交流 ～第17回大里峠越え交流～

第17回大里峠越え交流が、10月17日に行われ、家族連れなど約70人が参加しました。

この企画は、峠を越えて生活文化の交流があった新潟県関川村と小国町の交流をさらに深めようと開催しているものです。

関川村側から登った一行は、落ち葉の積もる峠道を進み、山頂で折鶴を奉納。約2時間かけて、小国町側の手の倉口（玉川地内）に到着しました。手の倉口では、「大里鍋」が振る舞われ、参加者は秋の恵みに舌鼓を打ちながら交流を深めていました。



秋の峠道を関川村側から小国町側へ歩く

10/24

響き渡る元気な歌声 ～伊佐領小学校閉校記念コンサート～



伊佐領小児童も歌と手話を披露

伊佐領小学校閉校記念コンサートが、10月24日、同校体育館で行われ、児童や保護者、教職員、地域のかたなど約90人が参加しました。

コンサートは閉校記念事業実行委員会（渡部俊郎実行委員長）が主催したもので、シンガーソング・ライターの須貝智郎さんとAKEMIさんが招かれ、「名もない花のように」や「ベコ子は山へ」などを熱唱しました。

また、須貝さんとAKEMIさん、そして地域の子どもたちが一緒に手話を交えながら「輪をつくろう」を歌い、会場から大きな拍手が送られていました。

10/23

秋のセラピーロードを散策

～紅葉ウォークin温身平2010～



案内ボードで温身平の植生



足を止めて見入っていたヤチダモの大木

紅葉ウォークin温身平2010が、10月23日、温身平森林セラピーロードで行われ、町外から9人が参加しました。

これは、森林セラピー基地の案内人組織である小国町森林セラピーアテンドメントミーティングが主催したもので、昨年に続き今年で2回目の取り組みです。

当日は、晴天に恵まれ、安部清さん（驚）、横山孝蔵さん（小玉川）の2人のアテンドメントが、メインロードやけもの道など、ブナやミズナラの大木が並ぶ、約5.5kmの道のりを案内しました。

参加者は、アテンドメントに森の癒し効果を体感しながら、ヨガの手法を取り入れた深呼吸を体験したほか、植生している木々に触れながら、ゆっくりと森林散策を楽しみました。

参加した佐藤百合子さん（新潟県新発田市）は、「景色も良く、ベンチなども整備されていて居心地が良かった。新緑の季節にも来てみたい」と話してくれました。

この人に聞く

小国町森林セラピー
アテンドメントミーティング

代表 伊藤良一さん

（小玉川）



小国町森林セラピーアテンドメントミーティング代表の伊藤良一さん（小玉川）にお話を伺いました。

「アテンドメントミーティングは、現在、二十五人で活動しています。温身平での主な取り組みとして、七月・八月に温身平ミニツアー、十月の紅葉ウォークを行っているほか、個別に要請があれば、その都度、対応しています。温身平の散策に訪れるかたは、年々増えているように感じます。周辺地域の自然、文化や、その案内方法について研鑽を深め、より多くのかたに温身平の魅力を広めていきたいと考えています。」と話してくれました。

お知らせコーナー

募集

町営住宅入居者募集

■小坂町勤労者住宅

2K 2戸

▽家賃 三万三千円

■岩井沢勤労者住宅

3DK 3戸

▽家賃 四万二千元

▽対象 小坂町・岩井沢ともに、町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3ヶ月分

■募集期限 11月9日(火)

■入居時期 11月下旬以降

■申込・問合先

地域整備課建設管理室へ

ご案内

認知症出前相談

■日時 12月8日(水)

午後1時30分～3時

■場所 健康管理センター

■対象 認知症の人を介護している家族のかた

■内容 県高齢者総合相談センターによる認知症についての講話と個別相談

■申込・問合先 健康福祉課へ

高血圧予防のための講習会

■日時 ①11月29日(月)、②12月6日(月)※いずれも午前10時～午後3時

■場所 健康管理センター

■内容 高血圧に関するお話、高血圧予防の食事づくり(調理実習を含む)、メ

タボ予防のための軽運動

■参加費 無料

■申込期限 11月15日(月)

■申込・問合先 健康福祉課へ

横川ダム湖内の伐採木を提供します

■日時 11月19日(金)、20日(土)※いずれも午前10時から午後3時

■引き渡し場所 横川ダム管理支所の叶水倉庫

■伐採木 直径5～30cm程度の雑木の幹。長さ1m程度。

■引き渡し方法 担当者の指示に従って整然と積み込み・運搬を行ってください。

■応募 問合先に11月10日(水)まで応募ください。その際に、お名前・電話番号・住所・車の車種・引取日をお伝えください。※応募は、

個人・団体で自宅消費されるかたに限定します。

■問合先 横川ダム管理支所

(☎65-2363)へ

狩猟期間が始まります

山形県の狩猟期間が始まります。この期間は、あらかじめ手続きを行った狩猟者に対して、狩猟可能区域における対象鳥獣の狩猟が認められます。狩猟者が納める狩猟税は、県の環境・鳥獣保護施策に活かされています。期間中の狩猟にご理解ください。

■県の狩猟期間

▽カモ類(11種)

11月1日～1月31日

▽その他(38種)

11月15日～2月15日

■問合先 置賜総合支庁(☎0238-26-6035)へ

白い森林柔道大会2010

■日時

11月20日(土)午前9時開会

■場所 町民総合体育館

■内容 ①団体戦、予選リーグと決勝トーナメント

②県選抜対抗戦

■その他 翌日(21日)に同会場で合同練習会を行います。

■問合先 小国町柔道会事務局

局 佐々木(☎62-3835)へ

5)へ

地域ささえあい研修会 in 小国町

■日時 11月21日(日)午前9時40分～午後3時20分

■場所 総合センター

■内容 NPO法人たすけあい遠州理事長稲葉ゆり子氏の講演並びに中山間地の

地域福祉の情報交換等

■参加費 五百円

■申込期限 11月16日(火)

■申込・問合先 実行委員会 丹学(☎62-5802)へ

地域議員協議会を開催

県議会では、それぞれの地域の課題や施策等について地域議員が審議を行う地域議員協議会を開催します。傍聴を希望されるかたは、当日会場でお申し込みください。

■日時

11月18日(木)午後1時～

■場所 置賜総合支庁講堂

■問合先 県議会事務局政策調査室(☎023-630-2846)へ

11月18日(木)午後1時～

今月の町長と語る日は11月24日(水)です。お気軽においでください。

皆さんの声をお寄せください。

町長室専用メール shiroimori@town.oguni.yamagata.jp

町長室専用FAX 0238(62)2611

総合センター図書室から

●新着図書

- ◇乙女の密告 赤染 晶子
- ◇母 - オモニ - 姜 尚中
- ◇終わらざる夏 上下 浅田 次郎
- ◇バカボンのパパよりバカなパパ 赤塚りえ子
- ◇1週間で正確な音程で歌えるようになる本 石川 芳
- ◇寂聴辻説法 瀬戸内寂聴
- ◇アレルギー体質は「口呼吸」が原因だった 西原 克成
- ◇「ふくらはぎをもむ」と超健康になる 太谷由紀子
- ◇みごと胎児に戻るまで 林 栄子
- ◇床下の小人たち メアリー・ノートン

●休館日…毎週月曜日、祝日

子育て支援センターから

☆あそびの広場☆

■日程 11月2日、9日、16日「子育て講座・幼児救急講座」、30日

■時間

午前10時～11時30分

■場所 健康管理センター

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆なかよし広場☆

■日程と場所

▼11月4日、18日 総合センター

▼11月11日、25日 おぐに保育園

■時間

午前10時～11時30分

■対象者 0歳から入園前のお子さんとお家のかた

☆こども愛ランド☆

■日時 12月4日(土)

午前9時～午後1時

■場所 健康管理センター

■内容 リース作り、簡単おやつ作り

■申込期限 12月2日(木)

問合せ

子育て支援センターへ

求 人 情 報

左の表は、10月27日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へお問い合わせください。

今月の納税 2010.11

11月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●11月26日(金) 水道料

●11月30日(火) 国保税(5期)、後期高齢者保険料(5期)、介護保険料、下水道料・簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合せ 税務課税政管理室へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
(有) ア オ キ 工 業	法面工	2人	8:00～17:00
ア ク サ 生 命 保 険 (株) 長 井 営 業 所	商工会議所・商工会共済制度推進スタッフ(正社員)	3人	9:15～17:00
(有) 蔵 王 ス ト ア ー	レジ係(販売員)	1人	8:45～18:00
(有) 白 森 よ こ ね 物 産 品 直 売 所	販売・接客	1人	9:00～18:00
安 部 工 業 (株)	型枠大工・一般作業員	2人	8:00～17:00
(株) ケ イ ー プ ロ ダ ク ツ	自動車販売	1人	9:00～18:00
(株) アイコンワールド 新 潟 営 業 所	(派) CAD設計業務(山形県)	1人	8:30～17:15
(株) 横 川 建 設	土木施工管理技士(見習い可)・重車輜オペレーター	4人	8:00～17:00
遠 藤 建 設 (株)	土木施工管理技士	1人	8:00～17:00
ハ イ コ ー (株)	電気工事(見習い可)	1人	8:00～17:00
合資会社山佐 佐藤農機店	営業・販売・整備工	1人	8:30～17:30
(株) コ メ リ 新 潟 地 区 本 部	販売員(リージョナル社員)(山形・新潟・長野北信、中信)	1人	9:00～18:00 11:30～20:30
K A T E K Y O 学 院 長 井 校	完全個別指導 家庭教師	10人	17:00～21:00 18:00～22:00 19:00～21:00又は 10:00～22:00の間の2時間
(株) 金 十 商 店	生鮮作業業務・レジ事務全般	4人	9:30～12:30 16:00～20:00
(有) コンビニステーション オ レ ン ジ	店員	1人	9:00～18:00 のうち4時間程度

■保健カレンダー

■問合先 健康福祉課へ

月 日	内 容	受付時間	対象のお子さん(生まれた月)	場 所
12月10日(金)	1歳6カ月児健診	12:30～13:00	H21年4月～H21年6月	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳
12月17日(金)	1歳児健診	13:00～13:10	H21年12月	
	4カ月児健診	13:10～13:20	H22年8月	

平成23年度小国町中央児童室 入所申込を受け付けます

■受付期間

平成22年11月9日(火)から11日(木)まで

■受付時間

午前8時30分から午後7時まで

■受付場所

健康管理センター

■対 象 者

放課後に家庭で養育することができない小学1年生から3年生までの児童

■**申込方法** 申込書に必要事項を記入のうえ、健康管理センターに提出してください。
 なお、申込書は、健康管理センター及び各保育園に準備しています。

■**そ の 他** 平成23年度に入所を予定しているかたは、必ず期間内に申込くださるようお願いします。

※定員 中央児童室40人 分室30人

■**問 合 先** 健康福祉課へ

排水整備工事責任技術者 登録更新のお知らせ

日本下水道協会山形県支部に登録している責任技術者で、登録の有効期限が平成23年1月31日までのかたは、現在所属している指定工事店所在地の市町村で更新手続きが必要です。

■**該当者** 登録有効期限が平成23年1月31日までのかた

■必要な手続き

①登録更新の申請 ②更新講習会の受講

■更新申請期限

12月1日(木)まで

■申込・問合先

地域整備課上下水道室へ

指定管理者を 募集します

町では、公共施設の管理運営を行う民間の法人やその他の団体「指定管理者」を募集しています。

※個人は指定管理者にはなれません。

■募集対象施設(2施設)

- ・健康の森横根
- ・温水プール

■指定管理期間

平成23年4月1日から
平成28年3月31日まで5年間

■申請書受付日

平成22年11月17日(水)、18日(木)
いずれも午前8時30分から午後5時まで

■受付場所

役場産業振興課商工観光室

■募集要項等

申請書及び募集要項等は、町ホームページに掲載しています。また、産業振興課商工観光室でも配布いたします。

■問合先

産業振興課商工観光室へ

税務署からのお知らせ

相続、贈与等により取得した生命保険契約や損害保険契約等に係る年金の所得税の取扱いを改めることとしました。

この取扱いの変更により、所得税の還付を受けることができる場合があります。詳しくは、国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。長井税務署にお問合せください。

■**問合先** 長井税務署(☎84-1810)へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) ☎62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112 ●政策企画室 ☎62-2264 ●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 国保医療担当 ☎62-2261 ●税政管理室 ☎62-2403 ●会計室 ☎62-2406
- 農林振興室 ☎62-2408 ●商工観光室 ☎62-2416 ●建設管理室・上下水道室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432 ●議会事務局 ☎62-2448

相談

年金相談

- 日時 11月17日(水) 10:30 ~ 14:30
- 場所 役場町民相談室
- 対応者 日本年金機構
米沢事務所職員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

人権相談

- 日時 11月17日(水) 10:00 ~ 12:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

特設人権相談

- 日時 12月3日(金) 10:00 ~ 14:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町人権擁護委員
- 問合せ先 町民課住民窓口担当へ

弁護士無料法律相談

- 日時 12月3日(金) 10:00 ~ 15:00
- 場所 総合センター
- 対応者 町顧問弁護士
- 申込み 11月29日(月)までお申込ください。
- 申込・問合せ先 町民課町民生活担当へ

消費者相談

- 日時 11月27日(土) 10:00 ~ 15:00
- 場所 役場町民相談室
- 内容 多重債務に関する相談など
- 対応者 司法書士 舟山健蔵氏
- 申込み 事前に申込が必要です。
- 申込・問合せ先 町民課町民生活担当へ

行政書士無料相談

- 開催日 毎月第4火曜日
- 時間 10:00 ~ 13:00
- 場所 長井市役所
市民相談センター内
- 問合せ先 山形県行政書士会長井支部事務局 (☎88-2825) へ

除雪機を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道・生活道路などを対象に、町のハンドガイド式小型除雪機(35馬力)を貸し出します。

■対象道路

- ・町道その他町が管理する道路で、道幅の狭い1車線の道路又は歩道
- ・個人又は法人が管理し、不特定の一般交通の用に供されている道路など

■対象者

- ・2世帯以上で構成する任意団体
- ・町長が特に認める個人または法人
- ※除雪を業とするものには貸与できません

■募集期間 11月1日(月)~17日(水)

■貸出期間 11月下旬~3月31日

■その他 申込件数が多い場合は、選考審査会で審査し決定します。

■申込先 地域整備課建設管理室へ

秋の火災予防運動

防火標語(平成22年全国統一防火標語)

『「消したかな」あなたを守る 合言葉』

秋の火災予防運動を、11月9日(火)~15日(月)の7日間実施します。

期間中は、午前7時と午後6時に非常サイレンを鳴らします。火災と間違わないようにしてください。

また、14日(日)午前9時から11時30分まで、消防自動車、火災予防パレードを行います。

■問合せ先 消防小国分署 (☎62-2154) へ

戦後強制抑留者の皆さまへ

シベリア戦後強制抑留者に対する特別給付金の請求受付が、平成22年10月25日(月)から始まりました。

対象者は、戦後強制抑留者で平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命のかたです。

請求受付期間は、平成22年10月25日から平成24年3月31日までです。対象となるかたで、当基金から請求書類が届いていない場合は、お問合せください。

■問合せ先 独立行政法人平和祈念事業特別基金 事業部 特別給付金担当 (☎0570-059-204)

※I P 電話、P H S からは☎03-5860-2748へ

戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

幸 町 丹 内 彩 愛 (淳 燕
 小 玉 川 渡 邊 里 美 (竹 義 男 子

結婚おめでとうございます。

(舟 渡 川 上 秀 弘
 新 潟 県 大 滝 宏 美
 (若 山 今 裕 馬
 湯 花 五十嵐 舞 子

おくやみ申し上げます。

綱 木 箱 口 原 田 シヅエ (89)
 町 原 小 嶋 彌 作 (81)
 岩 井 沢 野 澤 こ の (97)
 東 原 加 藤 喜 美 雄 (85)
 足 野 水 小 松 和 夫 (81)
 折 戸 齋 藤 次 三 郎 (62)
 増 岡 今 一 郎 (77)
 五 味 沢 齋 藤 千 代 (75)
 兵 庫 舘 岩 崎 三 郎 (71)
 小 股 伊 藤 ヨ シ エ (90)
 増 岡 永 井 喜 美 子 (76)

人口のうごき

人 口 男 … 4,422人(－6)
 女 … 4,687人(－6)
 計 … 9,109人(－12)
 世帯数 3,252世帯(±0)

平成22年9月30日現在

伝えよう！ 広めよう！ おぐにの食文化

シリーズ①

栗と舞茸のふかし



材 料

もち米……………5合	〈A〉
舞茸……………1袋	しょうゆ……………60ml
ニンジン……………1/2本	酒……………50ml
油あげ……………1～2枚	みりん……………50ml
栗……………適量	水……………100ml
ササギ……………適量	ほんだし……………少々

作 り 方

- ① ニンジンやささがきにして、油あげを細切りにする。舞茸は手で裂く。
- ② Aの調味料で、ニンジン・舞茸・油あげを煮る。
- ③ 蒸し器に蒸し布をしき、もち米と皮をむいた栗を強火で10～15分蒸す。
- ④ 蒸しあがったもち米と栗を大きいボールにあけ、②の具と煮汁をよく混ぜる。
- ⑤ 再び蒸し器に戻し、10～15分蒸す。
- ⑥ 器に盛り付け、ゆでたササギを細切りにして混ぜる。



伝承者：佐藤悦子さん(足野水)

足野水地区では、昔から10月12日に、集落の収穫祭をしています。

収穫祭は、この秋に収穫した米や野菜、キノコなどで作った料理を持ち寄り、十二山神社に供え、秋の实りに感謝する行事です。

今回紹介した料理は、収穫祭に供えたもののひとつで、このほかにも、あけびの皮を使った料理など、小国ならではの食が並びます。

こうした食文化を大切にして、子どもたちにも伝えていきたいと思っています。

編集後記

紅葉ウオークin温身平を取材したとき、参加したかたに何がかきつけで参加したのか聞いてみました。新潟県から参加したかたは、「新発田で物産市があったとき、このイベントのチラシを見て参加したいと思った」とのこと。続けて、「本当に来て良かった」と話してくれました。参加した人々が森の豊かさ、案内人の人情に触れ、充実した時間を過ごせていたようです。

町外の人々が魅力を感じ、楽しめる豊かな資源。その情報発信の大切さを感じた一日でした。(加藤)